

質問書回答

2017年 7月18日

「(案件名)エルサルバドル国プロジェクト研究「初中等教育算数・数学指導力向上プロジェクトのインパクト評価」のためのデータベース構築
(公示日:2017年7月 5日/公示番号:170380)」について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答(案)
1	14 頁「(5) 対象グループの設定及びサンプルサイズ」	第2段落目の2行目、3行目に記載されている「1クラスあたり」は、配布資料に含まれているインパクト評価に係る協議議事録によれば、「1校あたり」を意味すると推察します。調査対象学校数が「各グループ100校、計200校」と設定されておりますことから、小中併設校を1校と数えていると理解いたしました。そのような理解でよろしいでしょうか。	第2段落目の2行目、3行目に記載されている「1クラスあたり」は「1校あたり」に訂正します。本調査では1校あたり各対象学年1クラスを選択します。また、調査対象学校は小中併設校を指し、それを1校とカウントしています。
2	15 頁「5.(ア)調査ツールの作成、ソフトウェアの使用」	「テスト問題」及び「授業観察シート」は「コンサルタントが必要部数の印刷準備を行う」とあります。経費見積を作成するための情報として、テスト問題と授業観察シートの仕様(頁数・紙質等)、並びに積算に適用すべき1クラスあたりの平均的な児童・生徒数があれば、そちらもご教示ください。	テスト問題は第2学年がA4サイズ白黒4頁程度、第7学年がA4サイズ白黒8頁程度を想定しています。また、授業観察シートはA4サイズ白黒2頁程度を想定しています。1クラスあたりの児童・生徒数は地域や学校により異なりますが、積算においては1クラスあたり30名を適用ください。
3	15 頁「5.(イ)児童・生徒に対する調査の方法」	「試験解答用紙は調査完了までコンサルタントが保管すること」と指示されておりますが、日本人コンサルタントが現地作業を行う期間は限られており、プロジェクトからご提供いただける執務スペースにも制限があると思われまますことから、安全に	エルサルバドル教育省と試験結果の保管場所については協議中ですが、プロポーザルにおいて現地にて保管するスペースを借り上げる費用を計上することは認めます。また、基本的にインパクト評価において人間開発部で直接解答を

		<p>保管するためのスペースを現地にて借り上げる費用を予算に計上することは認められますでしょうか。あるいは、貴機構人間開発部がインパクト評価をされる際に解答を参照される可能性があり、本邦内で保管することを想定されている場合には、輸送に係る費用を計上したいと思いますので、そのようにご指示ください。</p>	<p>参照することは想定しておりません。</p>
4	16 頁「5. (エ)現地チームの構成、安全対策措置」	<p>各学校を訪問してデータ収集を行う「現地調査は、1 チームあたり 1 日 1 校を目安とする」とありますが、こちらは「(ウ)校長及び教員に対する調査」に記載されている、ベースライン調査、エンドライン調査とは別に年 2 回程度行う調査のことを指していると理解してよろしいでしょうか。</p>	<p>「5. (エ)現地チームの構成、安全対策措置」における「現地調査」はベースライン調査、エンドライン調査における現地調査を指します。</p>
5	18 頁「(6) プレ調査の計画・実施」	<p>2017 年 10 月に予定されているプレ調査の目的と範囲を明示していただけますでしょうか。特に、貴機構から提供される問題や授業観察シートの妥当性・信頼性の検証も、プレ調査を通じて行う予定でしょうか。また、その際に収集すべきデータの量(学校数、教員数、児童・生徒数)が想定されていれば併せてご教示ください。</p>	<p>プレ調査の主な目的は、評価ツールのテスト(ご指摘のとおり試験問題・授業観察シートの妥当性・信頼性の検証を含みます)・改訂、現地調査からデータ入力・クリーニングの実施の確認を行うことです。また、現地調査員の訓練を兼ね、授業観察結果において観察者毎の相違が生じないかを確認することも含まれます。プレ調査の対象校は 5 校程度を想定していますが、別の提案をプロポーザルでしていただいても構いません。</p>
6	18 頁「(6)(ウ)調査対象とする教員、児童・生徒の選定」、「(7)(ウ)調査対象とする児童・生徒の選定」	<p>「調査対象の教員が担当するクラスから、児童・生徒リストをもとに、調査対象とする児童・生徒をランダムに選定する」とありますところ、調査対象の教員が調査対象学年で複数のクラスを担当して</p>	<p>プロポーザルにおいては、調査対象の教員が調査対象学年で複数のクラスを担当していた場合には、1 つのクラスをランダムに選定した後に、そのクラス内で児童・生徒を選定するという</p>

		いた場合には、1つのクラスをランダムに選定した後に、そのクラス内で児童・生徒を選定するという手順でよろしいでしょうか。	手順で構いませんが、本件受注コンサルタントの業務開始後に改めて協議の上、決定します。
7	21 頁「(1)フォローアップ調査計画の改訂、業務計画書(第2年次)の作成」	「2018年10月に実施するフォローアップ調査」とありますが、「2019年10月」と理解して差し支えありませんか。	「2018年10月に実施するフォローアップ調査」は「2019年10月に実施するフォローアップ調査」に訂正します。
8	26 頁「3.(2)コンサルタント執務スペースの提供」	「プロジェクト専門家の執務スペースを共有することが可能である」とありますが、初中等教育算数・数学指導力向上プロジェクトが終了する2019年6月以降も引き続き、本件調査に従事するコンサルタントの執務スペースは、エルサルバドル国教育省から提供されると理解して構いませんか。	初中等教育算数・数学指導力向上プロジェクトが終了する2019年6月以降も引き続き、本件調査に従事するコンサルタントの執務スペースは、エルサルバドル国教育省から提供されると理解されて構いません。
9	26 頁「現地再委託」	「現地再委託分については、別見積とする」とありますが、プロポーザル評価の際に価格点が加算される可能性を考慮しますと、競争の公平性の観点から、再委託にせずに現地傭人として調査補助員等を傭上した場合にも、その経費(一般業務費の特殊傭人費や車両関連費等)を別見積として計上すべきかと思いますが、そのような考え方でよろしいでしょうか。	「プレ調査、ベースライン調査、エンドライン調査及びフォローアップ調査におけるデータの収集、データ入力、データセットの作成等」に関し、再委託とせずに現地傭人として調査補助員等を傭上した場合にも、その経費(一般業務費の特殊傭人費や車両関連費等)を別見積とすることとします。

以上